

2024年度決算・事業報告（案）

1. 2024年度の特徴

2024年度予算は、事業計画に基づいて、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の改定の対応、保育園の利用状況の見直しに応じた利用定員の調整、南区に新たな児童発達支援事業所の開設、パーチェ・第二パーチェの事業統合等を進めてきた。また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せずに組み立てたが、老健西の京で施設内利用者の感染（クラスター）の発生など引き続きコロナ対応が求められ、職員の疲弊感とともに経営的にも打撃をうけた。

- ① 保育事業分野は、当期活動増減差額の保育園合算で前年に続き2年連続の**実質赤字**となった。公定価格の改定分10.7%増が年度末に補助金（金額は未定、4保育園合計約4,000万円強）として入った為、決算の数字は2,017万円の黒字となったが、京都市の人件費補助金の扱い上2024年度では無く2025年度の収入認定額として算定されることになり、青い空保育園（X園）以外は2025年度の人件費補助金に影響し、厳しさの先送りとなっている。固定価格10.7%分の賃金改善は保育事業合算で厳しい事を基本に2025年度に検討する事とした。
- ② 介護事業分野は、今期から介護事業部長・老健西の京事務長に小野太郎さん、老健西の京施設長に山本勇治医師が任に就いた。

老健西の京の年度を通しての新型コロナウイルス感染症クラスターにより入所稼働が84.8%に留まり当期活動増減差額は▲2,349万円の赤字、介護事業所合算▲2,580万円の赤字に大きく影響した。ケアステーション虹の家は報酬改定の減額、人員の欠員等で厳しい状況が続いている。特養・GH都和のはなは報酬改定の加算対応等で改善し合算で辛うじて黒字となった。

- ③ 児童支援事業分野は、南区新規事業の京都市選定が10月となり年度内開設が条件という厳しい日程の中、あらかさ保育園の協力、京都市・建設業者等の協力により何とか3月31日に指定を受けることが出来た。

パーチェ・第二パーチェは統合に向けて児童の受け入れ等課題を進め3月30日に第二パーチェを廃止、3月31日よりパーチェに統合した。当期活動増減差額は、事業所統合の対応もあり、厳しく予算を見たが、1,619万円の黒字（予算比463.1%）となった。

- ④ 積立金の取崩しと積立金について

- ・保育事業の積立金の取崩し

青い空保育園…空調設備改修費用に充てる。 施設・設備整備積立金の取崩し800万円

※予算で必要があればとした、白い鳩・洛西・あらかさ・青い空保育園の人件費取崩しは行わなかった。

- ・介護事業所の退職資金積立金2,000万円（予算）の積立は行えなかった。

- ・各保育園の決算状況の見直しにより、以下の各保育園の積立金を行った。

<白い鳩保育園> 人件費積立金300万円

<あらかさ保育園>人件費積立金400万円

<青い空保育園> 人件費積立金900万円、施設・設備整備積立金700万円

2. 2024年度の決算概要

事業活動サービス活動収益は15億3,900万円となり、予算比で99.6%、666万円減（前年比98.0%）となった。

事業毎では、介護事業：予算比94.7%・前年比97.0%、保育事業：予算比104.3%・前年比100.7%、児童支援事業：予算比109.1%・前年比93.0%となった。

サービス活動費用は、15億2,047万円、予算比100.5%、820万円の増となった。

事業毎では、予算比で、介護事業100.3%、保育事業99.6%、児童支援事業100.5%となった。

人件費は、人件費率 76.2%、予算比で 100.3%、297 万円の増となった。

事業毎の人件費率は、介護事業 74.0%、保育事業 76.8%、児童支援事業 70.6%となった。

当期活動増減差額は、法人合計で 2,212 万円の黒字（収益比率 1.4%、予算差額 148 万円増）となったが…。

事業毎では、保育事業 2,017 万円の黒字、児童支援事業 1,619 万円の黒字、介護事業▲2,580 万円の赤字となった。

<事業活動収支計算書 概要>

単位：千円

		サービス活動収益計	サービス活動費用計	サービス活動増減差額	経常増減差額	当期活動増減差額
介護事業	2024 年度実績	784,127	798,287	▲ 14,160	▲ 8,886	▲ 25,800
	2024 年度予算	827,748	795,692	32,056	37,401	22,936
	2023 年度実績	808,719	780,945	27,773	32,956	19,779
	予算比	94.7%	100.3%	-44.2%	-23.8%	-112.5%
	前年比	97.0%	102.2%	-51.0%	-27.0%	-130.4%
保育事業	2024 年度実績	615,981	578,100	37,880	38,304	20,171
	2024 年度予算	590,667	580,711	9,956	11,604	▲ 5,795
	2023 年度実績	611,890	606,243	5,647	5,955	▲ 11,679
	予算比	104.3%	99.6%	380.5%	330.1%	-348.1%
	前年比	100.7%	95.4%	670.8%	643.2%	-172.7%
児童支援事業	2024 年度実績	138,882	117,386	31,506	222,860	16,199
	2024 年度予算	127,254	116,824	10,429	10,098	3,498
	2023 年度実績	149,352	114,044	35,308	35,888	29,074
	予算比	109.1%	100.5%	302.1%	2207.0%	463.1%
	前年比	93.0%	102.9%	89.2%	621.0%	55.7%
法人合計	2024 年度実績	1,539,007	1,520,471	18,536	28,152	22,125
	2024 年度予算	1,545,671	1,512,269	33,402	27,589	20,639
	2023 年度実績	1,569,963	1,528,072	41,890	51,162	48,576
	予算比	99.6%	100.5%	55.5%	102.0%	107.2%
	前年比	98.0%	99.5%	44.2%	55.0%	45.5%

	サービス活動収益計	サービス活動費用計	サービス活動増減差額	経常増減差額	当期活動増減差額
予算比	▲ 6,664	8,202	▲ 14,866	563	1,486
前年比	▲ 30,956	▲ 7,601	▲ 23,354	▲ 23,010	▲ 26,451

資金収支差額合計は、パーチェ吉祥院の建設仮勘定の拠出 7,459 万円等、保育事業の積立資産支出 2,300 万円を行い、▲2,909 万円の赤字となった。

事業活動資金収支差額は 9,987 万円、施設整備補助金収入 1,022 万円、積立資産取崩 800 万円等の収入等で、固定資産取得支出 1 億 77 万円と借入金元金返済 2,155 万円、積立資産支出 2,300 万円の対応をした。

固定資産取得の主なものは、パーチェ吉祥院の建設仮勘定 7,459 万円、青い空空調工事 1,232 万円、白い鳩門扉施工工事 194 万円、青い空日よけテント 137 万円、洛西調理室空調工事 132 万円、GH 浴室介助一式 117 万円等であった。

<資金収支計算書 概要>

単位：千円

	事業活動資金 収支差額	施設整備等補助金 収入	積立資産取崩 収入	設備資金借入金 元金償還支出	固定資産取得 支出	積立資産支出	当期資金収支 差額
24年度実績	99,873	10,226	8,000	21,552	100,772	23,000	▲ 29,092
24年度予算	109,738	0	32,500	21,552	44,056	20,000	59,376
23年度実績	84,454	6,911	30,000	47,664	109,985	20,000	4,155
予算比	91.0%		24.6%	100.0%	228.7%	115.0%	-70.2%
前年比	118.3%	148.0%	26.7%	45.2%	91.6%	115.0%	-1002.9%

総資産は、28億1,826万円で前年度より▲2,107万円の減少となった。流動資産は、パーチェ吉祥院の建設仮勘定対応等で▲5,648円の減少となった。固定資産は、積立金等の増加、新たな固定資産の取得、減価償却減の差引で3,541万円の増加となった。第二パーチェの固定資産をパーチェに移管した。

負債は、5億3,826万円で、前期より▲2,889万円の減少増加となった。今期新たな借入金は無かった。第二パーチェの負債についてもパーチェに移管した。

純資産は、当期活動収支差額の黒字、国庫補助金の積立・償却減等の結果、22億8,000万円で、783万円の増加となった。

<貸借対照表>

単位：千円

	2024年度	2023年度	前期差額
総資産	2,818,264	2,839,337	▲ 21,073
流動資産	752,036	808,520	▲ 56,483
固定資産	2,066,227	2,030,817	35,410
負債	538,261	567,161	▲ 28,899
流動負債	162,408	191,464	▲ 29,056
固定負債	375,852	375,696	156
純資産	2,280,006	2,272,176	7,830
次期繰越活動差額	1,101,407	1,094,281	7,125
内当期活動差額	22,125	48,576	▲ 26,450

2. 各分野の状況

(1) 介護事業

特養都和のはなのベッド利用率は97.3%（予算比99.3%）で稼働目標にあと少し及ばなかった。退所者は1人、入院中の空き室は236日（11人）で、内ショートは37日の活用をおこなった。入居者のコロナ感染は無かった。職員は5人感染したが入居者には感染しなかった。今年度より、食事を西の京の委託業者（魚国）から宅配（グローバルキッチン）に変更した。当期活動増減差額は69万円の黒字となった。収益は報酬改定の加算を追求し予算を確保し、人件費が予算比96.6%となった事、事務費（給食委託費）が減少した事が大きな要因となっている。

老健西の京のベッド利用率は84.8%（予算比91.2%）となった。入所者のコロナ感染クラスター年度内に4回発生し、年間を通して90%稼働を超える月を作れなかった。超強化型加算を維持するために、入所前後・対象前後の訪問等、入所職員やリハ職員等の多職種が関与する中で必要なポイントを確保することが出来た。

通所リハビリテーションは、1日平均202人（予算比87.8%、前年度18.8人）と目標に対し乖離はあるが、この間続く減少を食い止めている。ふれあいサロン（オープンティ：月1回開催）を前年より継続している。

当期活動増減差額は▲2,349万円の赤字となった。報酬改定の対応で立てた予算収益に対し4,403万円の乖離（不足）が大きく影響している。

グループホーム都和のはなの利用率は98.5%（予算比100.5%）で稼働目標を達成した老健西の京とのミドルスティ以外の入退所は無かった。食事を特養都和のはな同様毎日冷凍食品に変更した。当期活動増減差額は▲27万円の赤字となった。人員配置の経過で常勤職員が3人体制になった事で人件費が膨れ上がっている。

ケアステーション虹の家の訪問介護は41.3件/月（予算比96.0%）でした。職員の体制が厳しく、新しい利用者の希望はあるものの受入が出来ていない。報酬改定の改悪もあり当期活動増減差額は▲271万円の赤字となった。

<介護事業 稼働数>

		24年度実績	24年度予算	23年度実績	予算比	前年比
特養都和のはな	入所(利用率)	97.3 %	98.0 %	98.7 %	99.3%	98.6%
	入所(利用率)	84.8 %	93.0 %	91.7 %	91.2%	92.5%
老健西の京	通所(1日平均利用数)	20.2 人	23 人	18.8 人	87.8%	107.4%
	入所(利用率)	98.5 %	98.0 %	97.6 %	100.5%	100.9%
GH都和のはな	訪問介護(月件数)	41.3 人	43.0 人	44.3 人	96.0%	93.2%

<介護事業 事業活動収支計算書 概要>

単位：千円

		科目	24年度実績	構成比	24年度予算	23年度実績	予算比	前年比
特養 都和のはな	収益合計		113,746	100.0%	113,714	114,423	100.0%	99.4%
	人件費		83,295	73.2%	86,207	85,986	96.6%	96.9%
	費用合計		111,340	97.9%	111,933	116,129	99.5%	95.9%
	サービス活動増減差額		2,406	2.1%	1,781	▲ 1,706	135.1%	-141.0%
	経常増減差額		2,276	2.0%	1,663	▲ 1,883	136.9%	-120.9%
	当期活動増減差額		691	0.6%	757	▲ 2,894	91.3%	-23.9%
老健 西の京	収益合計		600,953	100.0%	644,984	624,123	93.2%	96.3%
	人件費		439,491	73.1%	432,843	426,177	101.5%	103.1%
	費用合計		616,331	102.6%	612,544	594,456	100.6%	103.7%
	サービス活動増減差額		▲ 15,378	-2.6%	32,440	29,666	-47.4%	-51.8%
	経常増減差額		▲ 9,741	-1.6%	38,196	35,312	-25.5%	-27.6%
	当期活動増減差額		▲ 23,499	-3.9%	25,626	22,425	-91.7%	-104.8%
GH 都和のはな	収益合計		50,496	100.0%	48,338	49,470	104.5%	102.1%
	人件費		38,456	76.2%	37,563	36,042	102.4%	106.7%
	費用合計		49,198	97.4%	48,474	47,471	101.5%	103.6%
	サービス活動増減差額		1,298	2.6%	▲ 136	1,999	-954.4%	64.9%
	経常増減差額		1,038	2.1%	▲ 429	1,711	-242.0%	60.7%
	当期活動増減差額		▲ 276	-0.5%	▲ 1,045	2,688	26.4%	-10.3%
虹の家	収益合計		18,931	100.0%	20,712	20,702	91.4%	91.4%

	人件費	18,674	98.6%	20,101	20,223	92.9%	92.3%
	費用合計	21,417	113.1%	22,740	22,887	94.2%	93.6%
	サービス活動増減差額	▲ 2,486	-13.1%	▲ 2,028	▲ 2,184	122.6%	113.8%
	経常増減差額	▲ 2,459	-13.0%	▲ 2,028	▲ 2,184	121.3%	112.6%
	当期活動増減差額	▲ 2,716	-14.3%	▲ 2,401	▲ 2,440	113.1%	111.3%
合計	収益合計	784,127	100.0%	827,748	808,719	94.7%	97.0%
	人件費	579,919	74.0%	576,714	568,428	100.6%	102.0%
	費用合計	798,287	101.8%	795,691	780,945	100.3%	102.2%
	サービス活動増減差額	▲ 14,160	-1.8%	32,057	27,773	-44.2%	-51.0%
	経常増減差額	▲ 8,886	-1.1%	37,402	32,956	-23.8%	-27.0%
	当期活動増減差額	▲ 25,800	-3.3%	22,936	19,779	-112.5%	-130.4%

(2) 保育事業

白い嶋・洛西保育園は、定員割れがおこり、特に0歳児の受入が大きく減少した。

各園の児童延べ人数は、白い嶋保育園 11,171 人(1 か月平均 98 人、前年度比 90.4%、0歳児 6 人)、洛西保育園 1,164 人(1 か月平均 97 人、前年度比 86.4%、0歳児 5 人)、あらくさ保育園 658 人(1 か月平均 55 人、前年度比 103.5%、0歳児 6.8 人)、青い空保育園 867 人(1 か月平均 72 人、前年度比 102.1%、0歳児 8.2 人)となり、保育事業合計で 1 か月平均 322 人(前年比 1 か月平均▲28 人)、前年比 92.0%、前年に続き児童数の大幅な減員となった。

白い嶋保育園は、利用定員を 120 人から 100 人に 9 月より変更した。第三者評価を 5 月に受診し、それをきっかけに職員ハンドブックを 1 年かけて年度内に完成した。困窮家庭、脅迫症の保護者等複雑な家庭が増えている。就学児・卒園児の居場所づくりを考える会を発足、持続可能な取り組みをどう作るか模索中。

当期活動増減差額は 47 万円の黒字となったが…。人件費比率は 80.7%、この間の収益減に対応してきているが、黒字化の目的が立っていない。利用定員 80 人とした保育の構造を検討している。

洛西保育園は、利用定員を 120 人から 100 人に 9 月より変更した。園長が体調不良で 6 月～7 月の間休職、主任を中心に運営委員が保育園をまわし、法人内保育園からも体制支援等を受け乗り切った。老朽化建て替えについて、補助金が思ったより少額で改築費用が総額で 2 億円余りかかるという判断から、補助金活用の建て替え計画案は中止し、施設の不具合の改修と今後の保育展開を見据えた施設改修を進める事にした。具体化は 2025 年度中を目指す。

当期活動増減差額は▲373 万円の赤字となったが…。人件費比率は 79.3%、白い嶋保育園同様この間の収益減に対応してきているが、黒字化の目的が立っていない。利用定員 80 人とした保育の構造を検討している。

あらくさ保育園は、産休育休職員が常勤 3 人・フル非常勤 1 人の 4 人がいる中で派遣職員の代替え等で対応した。職員体制上 0歳児の受け入れは 8 人を上限とした。パーチェ吉祥院の開設の為園庭を提供し、工事期間中は園庭が使用できなかった。近隣の公園を活用する等、出来るだけゆったりと一人ひとりの要求に付き合いながら保育することを心がけた。

当期活動増減差額は 363 万円の黒字となったが…。人件費率は 77.3%、産休・育休 4 人の影響もあり、予算比・前年比とも下回った。

青い空保育園は、6 月から午睡見守り専任配置が出来るようになった。職員と何度も話し合い、「作業時間がない」「休憩がまわらない」等の不満が多く出たが、その都度何が大切かを話し合いながら進めてきた。幼児責任者が出した資料(運動会は子どもががんばらなくてもいいという内容)に違和感を持った保護者とこじれてしまい、幼児責任者は病欠となり、個人面談・懇談会の開催など求められ解決に時間がかかった。10周年のつどいは在園児、卒園児、保護者、OB 等 269 人の参加があ

った。大鍋パーティー等で地域などのつながりが深められている。

当期活動増減差額は 1,979 万円の黒字となった。X 園なので京都市の人件費補助金との精算は無く大きな黒字となったが、青い空保育園単独で職員の処遇改善の対応を行う訳にいかず、4 保育園全体として検討することとした。

<児童数>

保育園	児童数	24 年度	24 年度予算	23 年度	予算比	前年比
白い鳩保育園	年間児童数	1,171	1,188	1,296	98.6%	90.4%
	月平均児童数	98	99	108		
洛西保育園	延べ児童数	1,164	1,176	1,348	99.0%	86.4%
	月平均児童数	97	98	112		
あらぐさ保育園	延べ児童数	658	636	701	103.5%	93.9%
	月平均児童数	55	53	58		
青い空保育園	延べ児童数	867	840	849	103.2%	102.1%
	月平均児童数	72	70	71		
合計	延べ児童数	3,860	3,840	4,194	100.5%	92.0%
	月平均児童数	322	320	350		

<保育事業 事業活動収支計算書 概要>

単位：千円

保育園	科目	24 年度実績	構成比	24 年度予算	23 年度実績	予算比	前年比
白い鳩 保育園	サービス活動収益	163,737	100.0%	163,513	162,853	100.1%	100.5%
	人件費	132,209	80.7%	128,007	139,437	103.3%	94.8%
	サービス活動費用	158,234	96.6%	153,903	163,920	102.8%	96.5%
	サービス活動増減差額	5,502	3.4%	9,610	▲ 1,067	57.3%	-515.7%
	経常増減差額	5,678	3.5%	9,610	▲ 892	59.1%	-636.5%
	当期活動増減差額	473	0.3%	3,610	▲ 6,663	13.1%	-7.1%
洛西 保育園	サービス活動収益	171,874	100.0%	166,712	171,594	103.1%	100.2%
	人件費	136,335	79.3%	138,595	144,307	98.4%	94.5%
	サービス活動費用	169,106	98.4%	169,859	177,458	99.6%	95.3%
	サービス活動増減差額	2,768	1.6%	▲ 3,146	▲ 5,864	-88.0%	-47.2%
	経常増減差額	2,812	1.6%	▲ 3,082	▲ 5,850	-91.2%	-48.1%
	当期活動増減差額	▲ 3,731	-2.2%	▲ 9,082	▲ 11,868	41.1%	31.4%
あらぐさ 保育園	サービス活動収益	128,813	100.0%	127,198	128,669	101.3%	100.1%
	人件費	99,536	77.3%	103,653	105,330	96.0%	94.5%
	サービス活動費用	121,508	94.3%	124,049	125,243	98.0%	97.0%
	サービス活動増減差額	7,305	5.7%	3,149	3,426	232.0%	213.2%
	経常増減差額	7,391	5.7%	4,229	3,473	174.8%	212.8%
	当期活動増減差額	3,634	2.8%	1,229	▲ 555	295.7%	-654.8%
青い空 保育園	サービス活動収益	151,555	100.0%	133,242	148,773	113.7%	101.9%
	人件費	104,838	69.2%	109,236	118,303	96.0%	88.6%

	サービス活動費用	129,250	85.3%	132,899	139,621	97.3%	92.6%
	サービス活動増減差額	22,304	14.7%	343	9,152	6502.6%	243.7%
	経常増減差額	22,420	14.8%	848	9,225	2643.9%	243.0%
	当期活動増減差額	19,794	13.1%	▲ 1,551	7,408	-1276.2%	267.2%
合計	サービス活動収益	615,979	100.0%	590,665	611,890	104.3%	100.7%
	人件費	472,918	76.8%	479,491	507,378	98.6%	93.2%
	サービス活動費用	578,100	93.9%	580,710	606,243	99.6%	95.4%
	サービス活動増減差額	37,880	6.1%	9,956	5,647	380.5%	670.8%
	経常増減差額	38,304	6.2%	11,605	5,955	330.1%	643.2%
	当期活動増減差額	20,171	3.3%	▲ 5,795	▲ 11,679	-348.1%	-172.7%

(3) 児童支援事業

児童発達支援事業の利用状況は、パーチェ年間2,581人（1日当たり8.9人、予算比101.1%・前年比91.8%）、第二パーチェ年間2,667人（1日当たり9.2人、予算比104.5%・前年比94.8%）、パーチェ梅小路年間2,851人（1日当たり9.8人、予算比98.0%・前年比199.0%）、合計で予算比101.1%（前年比95.2%）となった。

相談支援パーチェは、計画相談197件、モニタリング199件、合計で396件（前年比85.0%）となった。

南区に新しく児童発達支援事業所を作る計画は、責任者を竹内児童支援部長（パーチェ吉祥院管理予定者）として、京都市の対応、設計事務所との打ち合わせ、建設工事の入札、短い工期での建物の完成等々、タイトな期間で事業所指定にこぎつけた。特にあらぐさ保育園には大きな支援を頂いた。パーチェ・第二パーチェの統合のために、2025年度を見据えた児童数の受け入れ調整を行い、年長児童以外は制限せざるを得なかった。パーチェ開設20周年で企画した「親子で出会えてよかったと思える療育をめざして～パーチェ20年のあゆみ～」は3月に発行された。好評で増刷を検討している。

サービス活動収益は、パーチェは予算比107.8%・前年比90.0%、第二パーチェは予算比115.1%・前年比94.6%、パーチェ梅小路は予算比103.8%・前年比94.4%、相談支援パーチェは予算比118.0%・前年比92.5%、全事業合計で**予算比109.1%（1,163万円の超過達成）**となった。報酬改定のあらたな加算、専門的支援加算の算定の具体化が功を制している。サービス活動費用は、予算比100.5%（56万円の増）となった。**当期活動増減差額は、合計1,619万円の黒字（予算比1,270万円の増）**となった。

<児童支援事業 児童数>

児童発達支援	2024年度			2023年度	1日当り増減	
	利用者数(延)	1日当り	1日当り予算	1日当り	予算比	前年比
パーチェ	2,581	8.9	8.8	9.7	101.1%	91.8%
第二パーチェ	2,667	9.2	8.8	9.7	104.5%	94.8%
パーチェ梅小路	2,851	9.8	10.0	9.9	98.0%	99.0%
合計	8,099	27.9	27.6	29.3	101.1%	95.2%

児童相談支援	計画相談	モニタリング	24年度合計	22年度合計	予算比	前年比
相談支援パーチェ	197	199	396	466	110.0%	85.0%

<児童支援事業 事業活動収支計算書 概要>

単位：千円

	科目	24年度実績	構成比	24年度予算	23年度実績	予算比	前年比
パーチェ	サービス活動収益	41,852	100.0%	38,810	46,517	107.8%	90.0%
	人件費	30,967	74.0%	31,317	28,804	98.9%	107.5%
	サービス活動費用	36,355	86.9%	36,781	33,689	98.8%	107.9%
	サービス活動増減差額	5,496	13.1%	2,029	12,828	270.9%	42.8%
	経常増減差額	5,850	14.0%	1,860	13,116	314.5%	44.6%
	当期活動増減差額	27,445	5.5%	60	11,174		245.6%
第二パーチェ	サービス活動収益	44,690	100.0%	38,838	47,226	115.1%	94.6%
	人件費	31,169	69.7%	32,979	30,631	94.5%	101.8%
	サービス活動費用	37,568	84.1%	36,145	35,091	103.9%	107.1%
	サービス活動増減差額	7,122	15.9%	2,693	12,135	264.5%	58.7%
	経常増減差額	7,485	16.7%	2,526	12,426	296.3%	60.2%
	当期活動増減差額	▲ 67,871	-151.9%	126	10,026		-676.9%
パーチェ 梅小路	サービス活動収益	45,267	100.0%	43,605	47,950	103.8%	94.4%
	人件費	30,395	67.1%	33,031	32,771	92.0%	92.7%
	サービス活動費用	36,535	80.7%	39,106	38,614	93.4%	94.6%
	サービス活動増減差額	8,732	19.3%	4,499	9,336	194.1%	93.5%
	経常増減差額	8,785	19.4%	4,502	9,336	195.1%	94.1%
	当期活動増減差額	▲ 13,814	-30.5%	2,102	6,936	-657.2%	-199.2%
パーチェ 吉祥院	サービス活動収益						
	人件費						
	サービス活動費用	35					
	サービス活動増減差額	▲ 35					
	経常増減差額	▲ 35					
	当期活動増減差額	79,964					
児童相談支援 パーチェ	サービス活動収益	7,081	100.0%	6,000	7,658	118.0%	92.5%
	人件費	5,536	78.2%	3,600	5,445	153.8%	101.7%
	サービス活動費用	6,890	97.3%	4,791	6,649	143.8%	103.6%
	サービス活動増減差額	191	2.7%	2,310	1,208	8.3%	15.8%
	経常増減差額	200	2.8%	2,310	1,208	8.7%	16.6%
	当期活動増減差額	▲ 9,724	-137.3%	1,208	936	-805.0%	#####
合算	サービス活動収益	138,892	100.0%	127,253	149,352	109.1%	93.0%
	人件費	98,068	70.6%	100,927	97,549	97.2%	100.5%
	サービス活動費用	117,386	84.5%	116,823	114,044	100.5%	102.9%
	サービス活動増減差額	21,506	15.5%	11,531	35,308	186.5%	60.9%
	経常増減差額	22,286	16.0%	11,198	35,888	199.0%	62.1%
	当期活動増減差額	16,199	15.7%	3,498	29,074	463.1%	55.7%

3. 法人運営

①理事会の出席率は100.0%（監事100.0%）、評議員会は72.2%（監事100.0%）となった。

②毎月定期的に法人事務局会議（理事長・常務理事・介護事業部長・保育事業部長・児童支援事業部長で構成）を開催し、事業計画の推進、各分野の課題の対応等を図った。介護事業部、保育事業部、児童支援事業部（児童部）を開催し分野毎の課題の推進、対応等を図った。

4. 利益処分の提案

以下のように利益処分を行う。

単位：円

今期繰越利益	22,125,617
積立金	▲ 23,000,000
積立資産取崩額	8,000,000
次期繰越増減差額に繰入	7,125,617

5. 社会福祉充実計画の対応

社会福祉充実残額は0円となり、社会福祉充実計画を必要とする対象ではなかった。

以上